

南の風

- ・巻頭言
- ・令和6年度 学校評価の結果
- ・六年生に感謝する会
- ・委員会引き継ぎ式



10秒間にかける

校長 若狭 陽一

3月24日の卒業式まであと半月となりました。卒業する6年生に感謝を表すイベントや、6年生が下級生に自分たちの思いを伝える活動が、今、盛んに行われています。先日は、感動的な「六年生に感謝する会」も開催されました。

卒業式を正式には、卒業証書授与式と言います。学校行事の中で、最も大切とされる行事です。卒業証書授与式では、体育館ステージに登壇した卒業生が、呼名され、卒業証書をもらいます。時間にして、一人わずか10秒です。しかし、自分の名前が呼ばれ、次の人の名前が呼ばれるまでのこの時間は、自分のためだけに与えられた時間です。卒業生一人一人にとって、この自分のためだけに与えられた10秒間は、正に、小学校6年間における最高の姿を披露する「集大成の時間」なのです。

卒業生は、「自分の最高の姿を表現しなさい」と言われたら、何を表現するのでしょうか。算数の問題を解く姿でしょうか。漢字を書く姿でしょうか。跳び箱で技を披露する姿でしょうか。全校のために奉仕活動をする姿でしょうか。……。小学校6年間でできるようになったことは、数え切れないくらい多いはずですが、卒業証書授与式で保障された10秒間で、自分の最高の姿を表現しようと思っても、返事や礼、腕の上げ下げなどの動作しかありません。よって、卒業生は、6年間の成長の証を、それらの動作で表現するのです。

また、卒業生も、在校生という立場で過去の卒業証書授与式を過ごしてきました。下学年の頃は、長い時間、行儀よく座っていることが苦痛だったかもしれませ

せん。しかし、学年が上がるにつれて、「自分も卒業の時はあのようになりたい」と、当時の卒業生の動作一つ一つに憧れを抱くようになってきたはずですが、

半月後の卒業証書授与式における、自信に満ちあふれた卒業生の立派な姿と、その姿に憧れ、じっと卒業生を見つめる在校生の姿を、今から楽しみにしています。



6年生教室に貼られた「卒業までのカウントダウン日めくりカレンダー」です。6年生全員で各ページを担当しました。